

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	トイロ二俣川		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2026年 1月 4日		～ 2026年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者から要望が多くある"体を動かす運動系のイベント"に対応できるスタッフが多く存在する。	比較的、障がい度合いの軽い児童が多いため、過度な支援にならぬよう自立に向けたイベントや支援を心がけている	スタッフ全員が同じ方向を見据え支援する。そして、そのための意思疎通を常に図る場を設ける
2	異動してきたスタッフが多く存在するが、その後安定して勤務している	拠点長との定期的な面談を通じて、自らのキャリアや日々の業務をより良くする工夫を考え行動している	会社のルールに則って、児童の支援はもちろん、スタッフの人生も考え、事業所運営に取り組んでいる
3	それぞれの児童の自立に向けた支援に全員が真剣に取り組んでいる	法令を遵守し、児発管を中心として児童の支援内容を定期的に共有している	共有内容が煩雑にならぬよう、全員が理解し正しく対応できる方法を常に改善していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童が利用できる部屋数が多くないため、相談室やクールダウンできる場所が限られる	備品等を管理するスペースを上手く設けることができていないため	整理整頓、そしてパーテーションを効果的に使用し個別の空間を作る
2	保護者の方が一緒に参加できる機会が少ない	これまで保護者の方が参加するイベントを実施した経験がほぼないため	保護者のご要望等を確認し、日程を早く設定し取り組むことのできる組織作り
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トイロ二俣川

公表日 2026年3月10日

利用児童数 56

回収数 30

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	1	0	2	少し狭そうです。	おもちゃを置く場所を活動スペースと別にする等して、少しでも広いスペースを確保するよう工夫しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24	0	0	6		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	3	1	4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	0	0	2		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	0	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	0	0	0	もう少し直接相談する時間があるともっと良いと思います。	基本的に個別支援計画面談は来所を促しています。それ以外もご要望があれば事業所での面談を実施しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	0	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	1	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	4	4	11	利用したことがない	地域の他のこどもと活動できる場を見つけ、その機会を提供したいと考えています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	6	5	8	家族が参加できる研修会があると嬉しい	まずは、保護者が集まる機会を少しずつ増やしていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	29	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	3	2	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	3	4	15	教室を見学できる日にできませんでした。そのため見学できる日を増やして欲しい。保護者会、保護者同士の交流はなないです。	毎月のイベントに保護者が見学できる、参加できるものを検討しています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	2	1	0	子どもを安心して通わせていただきたいです。	安心してお子様を預けていただけるよう、スタッフメンバー全員で支援します。ご要望があれば管理者中心に、迅速に解決に向けた場を設けます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	0	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	0	1	5	地震などの災害時の対応に関して訓練等があると安心だと思います。	各月で避難訓練は実施していますが、その内容も保護者の方へ周知するようにします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	0	0	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	0	1	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	1	1	5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	0	1	0	大変喜んで楽しみにしています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	3	0	0	いつも楽しそうです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	1	1	0	楽しんでおります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		トイロ二俣川				公表日 2026年3月10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	・基準人員に収めるように調整している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	1	・問題行動が多い児童の利用が多い日は、予めスタッフの配置調整や、他事業所からのヘルプを募る等して補っている	・他害や立てこもり等、問題行動が多い児童の利用が集中している日に男性スタッフが不在だと、力の面での対応が困難な場面がある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	4	・収納スペースに限りがあるため備品収納の際、児童の手が触れないよう施設して対応する ・地震対策として全ての棚に突っ張り棒で固定する ・車いす対応が発生する際は、男性スタッフ配置や人員を多く手配する	・備品が児童の手の届く場所にあり、気にしている姿がある ・地震対策は改善が必要だと感じる ・移動手段が階段のみの為、車いす対応が難しい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	1	・拠点内での面談、本社研修で全職員が広く参加できる仕組みになっている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	・今後実施予定 ・イベント内容についてヒアリングを行っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	3	・第三者評価の実施は知っているが、その内容までは把握していない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11				
通	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1	・定期的にMTGを実施している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1	・共有ツールを使用することで、全職員が統一された情報を知ることができる		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11		・児発管中心に定期的にケース会を開き、児童情報を共有している	・個別支援計画の内容について、詳細の確認ができていないことがあった。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11				

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		・全職員がバランスよくプログラムの作成をしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		・毎日打合せを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	1	・全員集合して行う形ではない。気づいたこと、不明な点はその場で相談するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	1	・支援の他に児童の記録も全員で共有し、不十分な場合は管理者より指摘しその場で改善するようにした	・記録が不十分なときがある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1	・スタッフ全員で定期的なケース会を実施することで、必要な内容は共有している	・計画の内容まで確認できないことが多い
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	1	・個別支援計画、別表ともに記載している	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	3	・旭区役所にて定期的に参加している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	6	・保護者からの情報収集をしている。 ・一部では実施している	・就学前の事はあまり詳しく知らない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	4	・これまで学校卒業後に障害福祉サービス事業所等への移行はない ・数年後にあれば全スタッフへ情報共有する	・まだそのような機会がない ・支援内容等を提供しているのかはわからない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	6	・今後SVが巡回予定	・児童発達支援センターとの連携を図っているかわからない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	7	・今後実施を検討	・あまりない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	5	・機会を見て協議会への参加を検討している	・積極的に参加はしていない様に思う
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	8	・今後実施予定	・家族などの参加できる研修の機会はありません	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11				

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	8	・今後実施予定	・そのような機会はあまりない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	1	・本社より発信、拠点からはブログ作成を実施している ・月に数回、保護者との連絡ツールを使用して行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	1		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	1	・事業所内でも社内社外でも研修を通じ、スタッフ全員が自信を持って情報伝達できる場を増やしていく	・自身の支援を振り返った際に、配慮が十分でないと感じる場面があった
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	8	・検討中	・地域住民と交流する機会はあまりない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	2	・法令に基づき実施している	・防犯に関する訓練はしていない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1	・現実的に保護者が事業所内で避難、救出する場面の発生は考えにくいのが、情報共有は行っていきたい	災害時の想定として保護者参加型の避難訓練があっても良い
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		・防犯カメラの設置	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	1	・計画の周知に努める	・保護者に了承を得ているが、計画書に記載があるのかはわからない	